

宮崎大学医学部附属病院 消化器外科 専門修練プログラム

消化器外科専門医養成は当院では第一外科と第二外科で担当しておりますので、プログラムは全項目で診療科毎に記載しております。

1. プログラムの概略・特徴

<第一外科>

本コースは、卒後臨床研修修了後外科専門医資格を取得し、更に、消化器外科専門医試験の受験資格を得ることを目標としている。

<第二外科>

消化器外科は、第二外科の3つの診療グループの一つであり、消化器外科、一般外科領域における、人間味ある外科医を育成し、医療を向上させていくこと、またその一環として消化器外科専門医の資格を得ることを目標としている。

2. 研修目標

【一般目標】

<第一外科> <第二外科>

日本外科学会による外科専門医取得のための修練カリキュラムに沿って研修を受け、この間、消化器外科専門医取得のための資格要件も満たすため、消化器外科の必要手術症例数の経験と、所定の業績・研修実績をクリアするための学会発表、論文作成、教育集会参加も行う。

【行動目標】

<第一外科>

当科に入局後日本外科学会、日本消化器外科学会に入会し、その後、外科専門医取得のための修練を行い外科専門医を取得する。さらにこれと平行して、最短コースとして5年間で消化器外科学会専門医制度に示される指定修練施設での450例以上の症例経験（術者としての低・中難度手術それぞれ50例を含む）を積む。資格認定委員会の定める学術集会（全国学会）や学術雑誌（論文3編）への発表、規定の教育集会への出席が必要となる。

必要な症例経験、業績を満たした時点で、専門医試験受験の申請を行い、同年試験（筆記及び面接）を受けることができる。試験に合格すれば消化器外科専門医の資格が取得できる。

<第二外科>

入局後1～2年：①腹部超音波検査、上部・下部消化管造影検査・内視鏡検査ができる。

②成人、小児の単径ヘルニアの根治手術ができる。

③虫垂切除術ができる。

④肛門疾患で膿瘍切開術、痔核手術、痔瘻手術ができる。

⑤イレウス解除術、胃瘻造設術、腸瘻造設術、人工肛門造設術、消化管吻合術、腸切除術ができる。

⑥胃・大腸切除術、郭清の助手ができる。

- 入局後3～4年：①胃・大腸切除術、郭清ができる。
②胃疾患、大腸疾患の鏡視下手術の助手ができる。
- 入局後5～6年：①胃疾患、大腸疾患の鏡視下手術ができる。
- 入局後7年～：①膵頭十二指腸切除ができる。
②肝切除術ができる。
③胆道再建ができる。 など

3. 研修スケジュール

<第一外科>

卒後臨床研修修了後の最短コース

- 1年目 第一外科入局、大学病院で外科を研修。
- 2～3年目 大学病院もしくは関連病院で外科医としての研鑽を積む。
- 4年目 日本外科学会の専門医を取得する。
- 6～7年目 消化器外科専門医試験を受ける。

その間大学院生や医員として基礎あるいは臨床研究を行い、さらに教官、指導医として臨床外科の研鑽を積む。専門医取得後は消化器外科医として外科の activity の高い病院で活躍する。専門性をさらに追求し、肝胆膵外科、食道・胃外科、大腸肛門病外科、内視鏡外科などの専門医をめざすこともできる。また、高難度肝胆膵外科手術の術者として経験を積み、学会・論文発表を行い日本肝胆膵外科学会評議員の資格を得、その後、日本肝胆膵外科学会高度技能医資格の取得をすることも可能である。

<第二外科>

卒後臨床研修修了後の最短コース

- 1～3年目 第二外科入局後、大学病院および関連施設にて消化器外科を修練。
- 4年目 日本外科学会専門医を取得。
- 6年目～ 日本消化器外科学会専門医を取得。

基本的には入局後4年間までは第二外科にて消化器外科とともに心臓血管外科、呼吸器・胸部外科、内分泌外科にて研修を積み総合外科医としての技術を習得する。後に消化器外科専門医となった際の技術に反映できるようプログラムされる。

日本消化器外科学会専門医取得後は消化器外科医として、大学病院を含めた関連施設にてさらなる消化器外科技術の向上を目指す。一方、学会・論文発表も積極的に行えるよう指導され、専門性をさらに追求するためには国内留学を行うことや指定施設でより多くの症例を経験することも可能である。また消化器外科学会指導医さらには消化器関連学会の専門医取得も同時に行っていく。

4. 評価

<第一外科>

目標に沿った研修を行い、最終的には日本消化器外科学会の資格認定試験により判断される。

<第二外科>

日本消化器外科学会消化器外科専門医の取得

5. 募集人員

第一外科：5名

第二外科：1～2名

6. 実施責任者

第一外科：宮崎大学医学部外科学講座 腫瘍機能制御外科学分野 教授 千々岩 一男（日本消化器外科学会：理事・評議員・指導医・専門医）

第二外科：宮崎大学医学部外科学講座 循環呼吸・総合外科学分野 教授 鬼塚 敏男

7. 指導責任者

<第一外科>

宮崎大学医学部外科学講座 腫瘍機能制御外科学分野	教授	千々岩 一男
同	准教授	近藤 千博
同	講師	甲斐 真弘
同	講師	佛坂 正幸
同	助教	日高 秀樹
同	助教	藤井 義郎
同	助教	大谷 和広
同	助教	前原 直樹
同	助教	大内田 次郎
同	助教	内山 周一郎
同	助教	旭吉 雅秀
同	助教	永野 元章
同	助教	今村 直哉

<第二外科>

宮崎大学医学部外科学講座 循環呼吸・総合外科学分野	教授	鬼塚 敏男
同	准教授	中村 都英
同	助教	河野 文章
同	助教	和田 俊介

8. 関連施設、学会認定状況

<第一外科>

指定修練施設：宮崎大学医学部附属病院、県立宮崎病院、宮崎市郡医師会病院、潤和会記念病院、藤元早鈴病院など。

日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設（A）：宮崎大学医学部附属病院

<第二外科>

指定施設：宮崎大学医学部附属病院、佐世保市立総合病院、同心会古賀総合病院など。

関連施設：宮崎県立日南病院、済生会日向病院、千代田病院など。

9. その他

<第一外科>

現在 21 名の外科専門医と、13 名の消化器外科専門医が当科で勤務しており（関連病院を含めると外科専門医 37 名、消化器外科専門医 21 名）、当科及び関連医療機関で、年間 2000 例以上の手術が行われている。

また、当科は日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設の最高ランク A に指定され、年間 100 例近くの肝胆膵外科高難度手術が行われており、日本肝胆膵外科学会高度技能医資格の取得をすることも可能である。

その他消化器関連の取得可能な専門医として、消化器病専門医、消化器内視鏡専門医、内視鏡外科学会技術認定医、大腸肛門病学会専門医、食道科認定医などがある。

<第二外科>

消化器外科では消化器外科専門医だけでなく下記の専門医取得も可能である。

内視鏡外科専門医（卒後 8 年）

消化器病専門医（卒後 8 年）、

消化器内視鏡専門医（卒後 8 年）など *（ ）は最短の取得年数を示す。

専門医取得において当科だけではなく、関連機関（指定施設・関連施設）に出向し修練を積むこともできる。当科においては心臓血管外科や胸部外科領域を修練することも可能であるため拡大手術症例（血行再建術、気管再建術を含む消化器手術など）を経験することも可能である。

10. 連絡先

<第一外科>

宮崎大学医学部外科学講座 腫瘍機能制御外科学分野

医局長：前原 直樹

TEL：0985-85-2808

FAX：0985-85-5814

E-mail：nmaehar3@med.miyazaki-u.ac.jp

<第二外科>

宮崎大学医学部外科学講座 循環呼吸・総合外科学分野

医局長：長濱 博幸

TEL：0985-85-2291

FAX：0985-85-5563

E-mail：dhirokun@med.miyazaki-u.ac.jp